

## 研究・活動報告書

### ①研究・活動題目

オリ&パラ開催によるバリアフリー化効果の評価の試み

### ②キーワード

「東京オリンピック・パラリンピック」・バリアフリー化整備・  
「オリ&パラ開催によるバリアフリー化効果」

2020年7月に開催予定であった「東京オリンピック・パラリンピック」は、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）への配慮から、開催を「1年程度」延期された。

2020年のオリンピック・パラリンピック開催に向けて、2020年は、各地で、バリアフリー化整備が進展した。

この報告書では、「鉄道駅」「新駅・新発着場」「新型車両」「観光」「文化公共施設」の中から、それぞれ3箇所を選定して、「オリ&パラ開催によるバリアフリー化効果」を抽出して、オリ&パラ後の課題を見極めたい。

### ③研究・活動成果

●この報告書で取り上げた「鉄道駅」「新駅・新発着場」「新型車両」「観光」「文化公共施設」で、「オリ&パラ開催によるバリアフリー化効果」として抽出されたことは、顕著な傾向としては、「エレベーターの大型化：駅でもっとも標準的だった(11人乗り)が、(15人乗り)以上の(18人乗り)や(20人乗り)・(24人乗り)」の大型化、増設・複数化が目立った。

例、高輪ゲートウェイ駅・東京駅・千駄ヶ谷駅・国立競技場駅・虎ノ門ヒルズ駅・  
両国リバーセンター発着場・ミヤシタパーク(MIYASHITA PARK)

●また、「多機能トイレ」の2箇所以上化も新しい傾向だった。

例、高輪ゲートウェイ駅・東京駅・千駄ヶ谷駅・ミヤシタパーク(MIYASHITA PARK)  
港区立伝統文化交流館

●JR東日本「E261系電車」(特急)「サフィール踊り子」では、JR東日本の特急車両では、初の従来方式の「車いすスペース」に併設して、フリースペース式の「車いすスペース」が整備された。

●(株)ポートサービス運航の海上交通船「SEA BASS ZERO (シーバス ゼロ)」では、海上交通船「シーバス」としては、初の車いす乗船客対応の乗降船リフトが整備された。また、初の自動扉多機能トイレが整備された。

★以上これらの傾向が、2021年以降も継承・発展されるのか？ 東京以外でも、継承・発展されるのか？  
を注目していきたい。